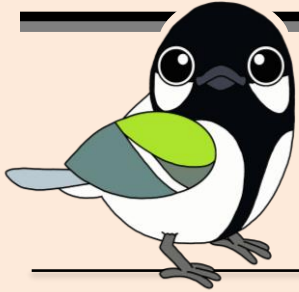


福島市小鳥の森通信

## しじゅうから



小鳥の森で観察してみよう116

## キクイタダキ

分類：スズメ目 キクイタダキ科  
 大きさ：10cm 日本最小の鳥

頭のとっぺんの黄色の羽毛が、キクの花の冠（かんむり）を戴（いただい）ているように見えることが名前の由来

小鳥の森でよく見られる時期  
 ・10月～3月

小鳥の森で見られる場所  
 ・シジュウカラ・カワセミの小径のアカマツ林に多い



さとう みおさん がかいてくれました。

## 11月 森のココに注目

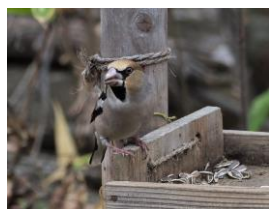
## ネイチャーセンター前の給餌台に野鳥がやってきます

11月半ば、木の葉が落ちた林の中はとても見通しが良くなります。それまでは葉の陰で見づらかった小鳥の姿もバッチリですね。山の斜面にそなえた給餌台にヒマワリの種を置き、ネイチャーセンターの大きなガラス窓から小鳥たちがよく見えるよう工夫をします。昨シーズン（R2年11月～R3年5月）は、連日5種類の小鳥を観察することができました。この秋冬はどうでしょう？楽しみですね。

注）小鳥の森では、野鳥のエサ不足を解消させるためではなく、日頃見るチャンスの少ない「森の小鳥」の姿を多くの方に観察・学習していただくために、給餌台を置いています。



シジュウカラ



シメ



アトリ



ヤマガラ

## 小鳥の森をたくさんの団体（小学校、保育園など）が利用されました

森の自然に触れあったり、森のお話を聞いたり、自然の素材（どんぐりやマツボックリなど）を利用した工作をしたり……。小鳥の森に子どもたちの元気な声が広がりました。



森のお話



自然素材で工作



動物のお話

## スタッフだより

### 姿うるわしヤマウルシ

赤や黄に染まる葉と聞いて思い浮かぶのはカエデ（いわゆる「もみじ」）でしょうか。夕陽のようなオレンジ色のサクラの葉も素敵ですね。

森の紅葉のスタート、それはヤマウルシです。まだ緑の木々の中で鮮やかに映える赤い葉は、秋の始まりを感じさせてくれます。

しかしこの美しいヤマウルシ。触るとかぶれます。秋の散策をトラブルなく楽しめるように、見分け方・かぶれた場合の対処法をお知らせしましょう。

見分けるポイントは二つ。一枚の葉が鳥の羽のように分かれた「羽状複葉」であることと「葉の軸が赤い」こと。なんだかおしゃれな姿ですね。

かぶれる原因はウルシオールと呼ばれる成分です。皮ふから体の中に入ると、人によって差はありますがアレルギー反応を起こします。この成分は油を含んでいるので「水だけでは落ちません」。もし触ってしまったら、すぐに「石けんを使って」洗い流しましょう。痒みがどうしても我慢できない時は水で冷やし感覚を鈍らせると楽になりますよ。重い症状が出た場合は病院で手当てを受けましょう。

危険でもあるけれど魅力的に色づくヤマウルシ。深く知って安全に堪能しましょう。

（スタッフ：くろさわ さちこ）



一枚の葉が羽のように分かれている



紅葉前でも葉の軸が赤い

## より楽しく生き物をするために

### 学習補助教材（ワークシート） をつくりました

森林環境学習などの授業の一環として小鳥の森を訪れる小学生の皆さんが、森の生き物と楽しく触れ合いながら、その暮らしぶりを知ってもらえる学習補助教材（ワークシート）を作りました。第1弾は小学3年生の理科で活用できる

「秋を代表する昆虫＝バッタの観察」がテーマです。今後、別の季節、異なった学年・教科に添ったワークシートを企画、作成する予定です。



\* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧ください。

\* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2021年11月号No.427／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま